起案日 平成29年 月 日

決裁日 平成29年 月 日

技術管理者

(<del>当初・</del>第2回変更)

### 設 計 書

部	長	室	長	課	長	課長代理	係	長	設	計	検	算

決裁根拠 第4条第1項 別表第1 3表(3)表18項

施 工 年 度: 平成28・29年度

支 出 費 日: 建設改良費

工事番号:

工事場所: 枚方市高塚町17-1

路線•河川名:

工 事 名: 鷹塚山配水場更新工事(建築工事)

完成期限: 平成30年2月28日(変更なし)

## 設 計 大 要

#### 工事内容

1. 建築工事

2. 機械設備工事

3. 電気設備工事

1式

1式

1式

#### 設計金額

エ	事 価	i 格	13, 417, 000	F
消費	<b>費税相当</b>	額	1, 073, 360	_ 円
I	事	費	14, 490, 360	- 円

#### 変更金額

エ	事 価	格	13, 960, 000	円
消費	稅相当	額	1, 116, 800	円
I	事	費	15, 076, 800	円

設計変更後の契約金額(税抜き) = 設計変更金額×契約金額÷設計金額

設計変更後の契約金額(税抜き) = 13,960,000 ×  $\frac{12,400,000}{13,417,000}$ 

= 12,901,000 円 (千止め)

### 消費税相当額

設計変更後の契約金額

1, 032, 080 円

13,933,080 円 増額:

541,080

円 (消費税込み)

#### インフレスライド額の算定

#### 【算定式】

 $S = [P2-P1-(P1\times1/100)]$ 

この式において、S、P1及びP2は、それぞれ次の額を表すものとする。

S:スライド額

P1:変動前残工事金額(契約金額から基準日(原則、請求日と同日)における既済部分に相応する 契約金額を控除した額)

 $P1 = \alpha \times Z1$ 

P2:変動後残工事金額(変動後の賃金又は物価等を基礎として算出した(P1)に相当する額)

 $P2 = \alpha \times Z2$ 

α:請負比率 (落札率)

Z1:発注者の積算金額から基準日における既済部分に相応する積算金額を控除した額

Z2:変動後の賃金又は物価等を基礎として算出した(Z1)に相当する額

## スライド額

(P2)
(P1)
(P1×1/100)

S = 13,933,080
- 13,392,000
- 133,920

= 407,160
$$\square$$

※ 本工事場合、基準日時点で工事未着手のため契約金額全額が変動後残工事金額となる。 よって、P1及びP2の額はそれぞれ契約金額と同額となる。

# 鷹塚山配水場更新工事 (建築工事)

工 種	名 称 形質寸法	数量	単 位	単 価	金額	摘   要
		1.0	式		7, 806, 359	増額
直接工事費	建築工事	1.0	式		7, 506, 808	第 1 号内訳書
		1.0	式		646, 040	
	W +4-311, (# ==					
	機械設備工事	1.0	式			第 2 号内訳書
		1.0	式		826, 640	増額
	電気設備工事	1.0	式		815, 170	第 3 号内訳書
		1.0	式		9, 279, 039	増額
	計	1.0	式		8, 951, 408	
		1.0	式		1, 005, 375	増額
	共通仮設費	1.0	式		926, 051	第 4 号内訳書
					10, 284, 414	増額
	純工事費				9, 877, 459	
		1.0	式		2, 255, 894	増額
	現場管理費	1.0	式		2, 170, 881	
					12, 540, 308	増額
	工事原価				12, 048, 340	

# 鷹塚山配水場更新工事(建築工事)

工種	名 称 形質寸法	数量	単 位	単 価	金額	摘   要
		1.0	式		1, 420, 639	増額
	一般管理費	1. 0	式		1, 369, 473	
	双目垤負	1.0	17/			
					13, 960, 947	増額
	工事価格				13, 417, 813	
					13, 960, 000	増額
					13, 417, 000	   (千円未満切捨て)
					1, 116, 800	
	Mother Manual Co					<b>担</b> 供
	消費税相当額				1, 073, 360	
					15, 076, 800	増額
	工事費				14, 490, 360	